

令和7年 10 月定例駐在員会 要旨

令和7年 10 月27日

○町長あいさつ

集落行事が開催され、町民体育大会も盛況であった。区長さんのご尽力の賜物である。先週は町長選挙期間中でお騒がせをした。選挙結果を受けて昨日は感激していたが、今朝は町長としての職責の重みを改めて感じている。向こう4年間また頑張っていきたい。

町政は役場だけでは進められない。町民総参加で本町が前進できるようにするには、区長さんのご支援ご協力が不可欠である。公約は確実に実行していく。温泉や中学校統合の問題があった。今回の選挙では投票率は低かったものの、町民の容認を得たと感じている。特に温泉については財源の調達という観点や、施設の老朽化により改修か新築が避けられない状況の中で、財政力の弱い本町としては国の支援を受けなければならない。温泉は健康増進施設として、さらには観光施設として活用できればよい。また、多世代交流の場として、子どもたちが雨の日や暑い日でも遊ぶことが出来る施設にしていく。

中学校統合について。本町も少子高齢化が進んでいる。今、整備していかないとけない。子どもの出生数が今年は25名程度である。

投票率が低く、(温泉と中学校統合について)容認されたとはつきり言いきれない部分もあるが、(投票結果を見ると)ある程度は理解いただいたと思う。これからも町民のために町民とともにつくる龍郷町を目指していきたい。

集落の重要な行事である種おろしを控えている集落もあるかと思う。健康には留意をされて集落をまとめていただいて、さらに龍郷町が前進できますようによろしくをお願いしたい。

先日、宇検村で開催されたサシバサミットで龍郷小学校の児童が素晴らしい発表をしたようである。アサギマダラの生態などについても報告されたようだ。龍郷小の児童が世界に向けて発表したということを申し添えたい。

JR九州ななつ星ブルートレインのツアー御一行がミル奄美で宿泊し、龍美館で食事をした。着実に龍郷町がアピールできている。龍美館では秋名幾里の皆さんが島唄と六調で歓迎をした。その後、自然観察の森を散策したようである。ツアー参加者は25名ほどであったが、いわゆる富裕層の皆さんであった。

○副町長あいさつ

先日来、各集落の敬老会ではお世話になった。先週は期日前や当日の選挙事務に立会人等で従事していただいた。これから種おろしを実施する集落もあると思うが、健康にはご留意をされて頑張っていたいただければと思う。

○各課等からの伝達事項

1. . 赤い羽根共同募金運動への協力依頼について（社会福祉協議会）

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動を一斉に実施している。皆さんのご協力を頂

き毎年募金運動が行われている。今年で 79 回目を迎える。募金は地域における資材調達や子どもお年寄りへの寄付という形で使われている。受付期間は令和 8 年 1 月 5 日(月)。目安は 1 世帯 500 円。皆様のご協力をお願いしたい。

2. 来年度行事日程の入れ替えについて（教委事務局）

先日開催された町民体育大会にご協力を頂き感謝を申し上げる。プログラムの配布が遅れ申し訳ない。来年度からは、広報紙を配布するタイミングに合わせたい。

町の 4 大行事は月の第 3 週に日程が組まれている。先日開催された町民体育大会では暑さによる体調不良者が出ているため、日程の変更を体育協会と町陸連で協議し、町駅伝と町民体育大会の日程を入れ替える案が出ている。10 月第 4 週に町駅伝大会を開催し、11 月第 3 週に町民体育大会を実施する内容である。この案についてご意見等があれば 10 月 29 日までをお願いしたい。来年度の町民カレンダーへの掲載の都合で期間が短く申し訳ない。

駅伝大会への協力依頼について。コース上にある集落とそれ以外の集落で依頼内容が違う。スタート時間を 30 分繰り上げる。中継所のある集落には机椅子とテントの協力をお願いしたい。選手集合時刻の 1 時間前には設営をお願いしたい。

○地域おこし協力隊活動報告

川崎隊員

1. かんもーれたつごう民泊 1 日体験プログラム「Harvest & Share 収穫体験で地域の料理を楽しむ、人と交流」を実施

- ・地域振興公社が植えたさつまいもの収穫と食生活改善グループによるシマ料理作り
- ・赤尾木の座り唄会による八月踊り体験
- ・奄美自然観察の森で植物や虫の観察

新しい取り組みであったため反応を心配したが、参加した高校生たちが芋掘りに夢中になる姿、シマ料理をお代わりし、八月踊りを楽しむ姿に安心した。教育民泊では宿泊を伴うプログラムだけでなく、1 日体験型の交流プログラムも実施している。

2. 秋名アラセツ行事への参加

- ・平瀬マンカイに保存会メンバーとして参加した。伝統文化の奥深さを学ぶ貴重な体験であった。

竹内隊員

1. 関西龍郷会に出席(10/12)

- ・総会の場で空き家バンク制度やリフォーム補助制度、危険空き家の解体補助制度について説明。名前と顔を覚えてもらっていた。協力隊の活動や空き家問題にも興味を持って話しかけてくれる方が増えた。

2. 令和 7 年度奄美群島移住・二地域居住促進協議会 in 龍郷町(10/22)

- ・1 部: 町内を視察、2 部: 講演・グループワーク

- ・荒波地区を中心に空き家問題の現状と取組を説明
- ・先進地域である長崎県五島市から講師を招いた
- ・長崎県五島市の支援制度を紹介

(移住希望者定住支援補助金、子育て世帯等移住促進補助金、奨学金返還支援助成金、短期滞在住宅、空き家活用促進事業補助金、雇用機会拡充支援事業補助金、移住支援金)

3.東京から大学生4名、教授1名来島予定(10/31～11/6)

- ・嘉渡集落のシマ暮らしお助け帳制作のため、集落内の散策やヒアリング調査を行う。

○移住定住カウンセラー活動報告

谷カウンセラー

1.「住もうディ！」への相談件数(9/26～10/24)

移住・住まい探しについての相談 18件

空き家活用についての相談 4件

空き家解体についての相談 1件

2.10年後の龍郷町「年齢別・男女別推計人口」

国立社会保障人口問題研究所による「将来推計人口」で、2025年9月と2035年のグラフを比較。若年層が減り逆ピラミッド型になっている。

毎月多くの移住相談が寄せられるが、住居不足により実際に移住できる人数は限られており、移住者を効率的に増やす必要がある。長崎県五島市では進学で島外に出る高校生に島での就職先や起業の方法、移住支援について教えている。